

公益財団法人北海道肢体不自由児者福祉連合協会 レクリエーション活動事業実施要綱

1 目 的

在宅の肢体不自由児者がレクリエーション活動を通じて地域とふれあい、肢体不自由児者の自立と社会参加を促進するための「レクリエーション活動事業」を実施した各地域の肢体不自由児者父母の会（以下「父母の会」という。）及びその他の者に対して、この要綱により事業に要する費用を助成する。

2 助成対象事業

助成対象とする事業は、レクリエーション、スポーツ、レジャー、音楽などの文化活動で地域住民やボランティアの参加を得るなどして行うものとする。

なお、父母の会以外の者が行う事業については、会長が事業内容及び地域における活動の状況等を勘案し、助成する事業を選定する。

3 費用の助成

- (1) 参加肢体不自由児者（知的障がい、精神障がいなどの障がい児者を含む。）1人につき2,000円を交通費の一部として助成する。
- (2) 北海道肢体不自由児者福祉連合協会（以下「協会」という。）は、前号に定めるほか、別表に定める費用を負担する。

4 実施計画書の提出

父母の会等は、この要領に基づき「レクリエーション活動事業」を実施する場合には、別に定める様式（様式第1号）により、実施計画書を協会に提出するものとする。

5 費用の請求

父母の会等は、レクリエーション活動事業を実施したときは、その都度、別に定める様式（様式第2, 3, 4, 5号）により、協会に請求するものとする。

6 施行期日

この要領は、平成25年4月1日から施行する。

平成31年4月24日一部改正。

令和2年7月22日一部改正。

別 表

レクリエーション活動事業協会負担費用

1. 謝金			
(1) 講 師		10,000円	以内
(2) 演奏等グループ		20,000円	以内
(3) ボランティア・協力者			
総額 障がい児者参加人数×1/2×1,		000円	以内
ただし、総額		20,000円	以内
(削除)			
2. 交通費			
(1) 講 師	実費	ただし、10,000円	以内
(2) 演奏等グループ	実費	ただし、20,000円	以内
3. 使用料・借上料 (会場、機器、車輛)			
実費×1/2		ただし、総額20,000円	以内
4. 消耗品、役務費			
実費		ただし、障がい児者参加人数×500円	以内

(様式1号)

令和 年度レクリエーション活動事業実施計画書

提出月日: 月 日 父母の会・グループ名

1. 概要

※ 実施時期にかかわらず、協会助成を希望する順に記載してください。

	行事名称	実施月日	場所・会場名	障がい児者参加見込数
①				名
②				名
③				名
				名

2. 事業内容、対象経費等

① -

主な事業内容			
講師等人数、経費(概算)	・講師等 $\frac{\quad}{\text{グループ}}$ 人	・謝金計 千円	・交通費計 千円
	・ボランティア協力者数 人 ※協会が負担する謝金の対象者数(見込)		
会場使用料	千円	その他機器等使用料	千円

② -

主な事業内容			
講師等人数、経費(概算)	・講師等 $\frac{\quad}{\text{グループ}}$ 人	・謝金計 千円	・交通費計 千円
	・ボランティア協力者数 人 ※協会が負担する謝金の対象者数(見込)		
会場使用料	千円	その他機器等使用料	千円

※3件以上有る場合は、別紙に記載してください。

3. 連絡責任者

氏名	電話番号	
	メールアドレス	

(様式1号 別紙)

令和 年度レクリエーション活動事業実施計画書(別紙)

父母の会・
グループ名

2. 事業内容、対象経費等(2)

③ -

主な事業内容			
講師等人数、 経費(概算)	・講師等 $\frac{\quad}{\text{グループ}}$ 人	・謝金 計 千円	・交通費 計 千円
	・ボランティア協力者数 人 ※協会が負担する謝金の対象者数(見込)		
会場使用料	千円	その他機器等使用料	千円

④ -

主な事業内容			
講師等人数、 経費(概算)	・講師等 $\frac{\quad}{\text{グループ}}$ 人	・謝金 計 千円	・交通費 計 千円
	・ボランティア協力者数 人 ※協会が負担する謝金の対象者数(見込)		
会場使用料	千円	その他機器等使用料	千円

(様式2号)

令和 年度レクリエーション活動事業実施報告書

提出日： 月 日 父母の会・
グループ名

1. 行事名称：

2. 実施月日： 年 月 日 (～ 月 日)

3. 場所・会場：

4. 参加者数

① 障がい児者： 名 ② 保護者・家族： 名

③ ボランティア・協力者： 名 ④ その他： 名

5. 実施内容 【開始： ～終了：】(2日目【：～：】)

・
・
・

※主なものを「時系列、簡潔」に記入。プログラム等資料の添付でも構いません。

6. 実施結果(成果、感想など)

※集合写真やスナップ写真を2～3枚添付(別途メール送信も可)願います。

(様式3号)

レクリエーション活動事業
協会助成金・負担金請求書

令和 年 月 日

公益財団法人 北海道肢体不自由児者福祉連合協会
会長 清水 誠一 様

父母の会・グループ

会長・代表

印

レクリエーション活動として、次のとおり事業を実施したので、
協会助成金及び負担金を請求します。

記

1 行事名称:

2 実施月日: 年 月 日(～ 月 日)

3 請求額: 金 円

内 訳 「収支決算書」別紙「助成金・負担金内訳表」のとおり
※ 協会負担金に係る対象経費の領収書(写)添付が必要です。

4 実施内容: 「レクリエーション活動事業実施報告書」のとおり

5 収支決算: 「レクリエーション活動事業会計収支決算書」のとおり

6 支払金振込先

金融機関	本・支店	口座種別
		普通・当座
口座番号	口座名(通帳名義人)	

※ 口座名(通帳名義人)は省略せずに記入してください。

(様式4号)

レクリエーション活動事業会計収支決算書

父母の会・グループ名:

収 入

内 容	金 額	摘 要
道肢連協助成金・負担金		内訳、別表のとおり
合 計		

支 出

内 容	金 額	摘 要
交通費等助成		参加児者数 名×@2,000円
合 計		

(様式4号 別表)

道肢連協助成金・負担金内訳表

○ 助成金

費 目	算定式	助成額(収入)
参加助成	参加児者 人 × @2,000円 =	円 (I)

○ 協会負担金

※下表に記載した経費全ての領収書(写)を添付してください。

費 目	負担額算定式 (a)	上 限 額 (b)	負担額(収入) (a)、(b)いずれか低い額
① 謝金(講師)	実費 円	1万円	円
② // (出演グループ)	実費 円	2万円	円
③ // (ボランティア等)	実費 円	参加児者 人 × 1/2 × 千円 = 円 ただし、2万円上限	円
④ 交通費(講師)	実費 円	1万円	円
⑤ // (出演グループ)	実費 円	2万円	円
⑥ 使用料借上料	実費 × 1/2 =	2万円 × 日数 = 円	円
使用料借上料実費内訳			
⑦ 消耗品・役務費	実費 円	参加児者 人 × 500円 = 円	円
消耗品・役務費実費内訳			
合 計			円 (II)

助成金(I) + 協会負担金(II) 合計	円
-----------------------	---

↓
「収支決算書」「収入」の「道肢連協
助成・負担」欄に計上

(様式5号)

レクリエーション活動事業参加児者名簿

○父母の会・グループ名:

○行事名称:

○実施月日:

	氏 名	居 住 地 (○○市○○地区)	同伴家族等 (人数)	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				